

特色ある開かれたクラブ運営をめざして

会長 合原 一夫

OMCはこのニュースの発行ナンバーが389号と示すように、大阪随一の伝統を持つクラブです。このクラブは、毎年1回公開映写会を開くことが恒例であり、会の最大のイベントであり、作品制作の一つの目標でもありました。それは現在まで受け継がれています。一方この頃新しい会員さんが増え、ムードも大分変わってきたように思います。出席者も毎回20名を越え、作品も10本に達する月さえ珍しくありません。活況が出てきたことはうれしく思うと同時に、今後の運営も再考すべきだと考えます。以前は例会の司会役とニュースでの短評を書く役は固定していましたが、現在は関、有村両世話役を加え3人の輪番制にしてマンネリ化を防ぐようにしています。これにあと1~2名参画していただくのと、ビデオデッキ係りに加え、出席・出品受付兼室内照明係等もきちんと輪番制で決めておくなど、多くの会員諸氏の会運営に参画していただきたいと考えております。月例会その他の運営について、多くの方のご協力を得たく、すすんで手を挙げて欲しいと念願しております。楽しい開かれた会の運営にぜひ貴方もご協力ください。

一方、映像フェスティバルはOMC最大のイベントであります、その内容が問われます。いい作品に仕上げていくための勉強会などの声が強いのであれば、例会とは別に機会を設けてもよいのではないかと考えます。年1本じっくり取り組んだ自信作を目指すことがOMCの特色あるフェスティバルではないか、そんな気もします。

5月例会のお知らせ

5月例会は第4土曜日23日18時より阿倍野市民学習センター(あべのペルタ3F)にて。どうぞ楽しい集いにご参集下さい。作品の方もどうぞよろしく。高野山撮影会参加申込者は最終確認をしたいので、ぜひご出席をお願いします。また会費を前期のみ納めている方は後期の分(5千円)を会計に納めてください。

4 月例会のレポート

今年は梅雨入りも早いという天気予報もあるなど、このところぱっとしないお天気が続いています。ゴールデンウィークを目前に控えた25日の例会日、出席者数が心配されましたが、そこはビデオ好きな面々、定刻頃にはほぼ満員の盛況ぶり。この調子ではもっと大きな例会場にしないでほしいと、うれしい悲鳴です。作品も先月に引き続き10本の大台に達しました。今月は司会に有村さん、書記は関さん、デッキ係安居さんをお願いして会を進行しました。なお今月から森口吉正さんが新しく入会されました。

■今月の出席者：有村、江村、今井、奥、岩井、金子、勝、田邑、那須、花岡、合原、安居、安居(良)、中尾、前田、増池、森下、宮崎、渡辺、森口(新)、関の21氏

■新入会員：森口吉正 〒573-0095枚方市翠香園町19-3 TEL0720-45-1883
よろしく申し上げます

上映作品（今月の短評は関世話役の担当です）

1. 杭州・蘇州・上海の旅 19分30秒 花岡 汪さん
中国江南三都市の旅行記録。10年前に比べ、とに上海の変貌ぶりに驚きました。ツアーで行くと満足に撮影はできませんが比較的努力されたあとが伺えます。しかし20分は長過ぎました。一都市または二都市に分けて作品にされると良いと思います。行程の順序は事実この通りだったかも知れませんが、上海は前後どちらかに纏めるべきでしょう。
2. 京都賀茂川冬景色 8分40秒 森口吉正さん
4月から新しくお仲間になられた森口さんのいわば名刺がわり。拝見する限り、かなりの経験をお持ちのようで強力なライバルがまた一人増えました。とくに賀茂川辺りの構図は抜群、周辺の情景にも無駄がありません。ただ作品の印象はうららかな小春日和、題名にある「冬」は感じません。
3. FSG創業100周年記念パーティ・イン・ハワイ 8分55秒 奥宏さん
2月の例会に出されたハワイの印象の姉妹編。ただしこれは前作と違ってプライベート映像の部類になります。仮にラッシュのまま会社の記録として残すためのアドバイスを問うものならなんとか例会でも対処できますが、これははれっきとした完成作。この中のバカ騒ぎも画面に出る人々や関係者にとっては結構面白く貴重な記録、しかし無関係の者にはしらけムードが漂うばかりです。プライベートと公開作品は区別して考えてください。
4. 春 5分45秒 江村一郎さん
長浜・慶雲館の盆梅越しに見る雪、荒波。ここまでは心象的で良かったのですが、梅のアップと夜桜の辺りからやや具体的になりました。花びらの流れと鯉。ズームインのあとにズームアウト、ここは一度切ってください。いつもの江村さんらしくないと会場の意見でしたが、私は作者の心意気を感じました。

5. 祇王寺 5分20秒 金子博泰さん
結論から言うと意識の空回りで終わった作品。平家物語りの琵琶で雰囲気はありますがかんじんの場面がアツフ不足。しかしよくぞ三脚を据えて祇王寺の中が撮れたもの、そのど根性に敬服します。嵯峨野で人を避けて撮るのは至難の技ですが、カメラに向かって手を振る女子学生は取って下さい。
6. 槇尾山 7分30秒 安居利次さん
「汗して登った先に素晴らしい展望がある」と言われる通り槇尾山施福寺は急峻な参道です。にもかかわらず撮影はたいへん意欲的、あらゆるところを詳細にカメラを向けた分り良い映像は作者の几帳面さがうかがえます。この分野は撮影後も編集と並行して資料調べやナレーションを書く作業が続き、簡単にできるものではありません。しかし作品を見た人にどれほどの印象が残っているか、苦勞の割に報われない分野でもあります。
7. 湖東三山を訪ねて 8分40秒 安居良枝さん
鈴鹿山麓に並ぶ三つの寺、といっても離れた場所にあり一回の撮影では完成しないと思いますが、この時はお体の調子が良かったのでしょうか。最近作風が変化し、とくにこの作品はご主人の得意とする分野に関わっておられます。時には作品の中でご夫婦がお互いに出演し合うこともあり都合の良いことかも知れませんが、ライバルにならないのでしょうか。ご主人は資料を元に正確なナレーションづくり、奥さんは情景に合わせ、そのときの感性で語るという違いがありますが、さてどちらにより多くの共感が得られますか。
8. 源さんの太極拳(DV) 8分30秒 田邑芳潤さん
優雅にして力強さを伴う演技、太極拳に魅せられる人の気持ちに分ります。真赤な敷物に純白の服装、そのコントラストも見事。撮影場所の制限で画角にたいへん苦勞されたあとが伺えます。そして出てきましたOMC初のノンリニア編集。最近のビデオ雑誌はノンリニアの記事や広告で埋められていますが、一般の評判としては、原画の取込み量が少なく時間がかかる、編集に必要な映像加工があれこれ出来ないなど、システム切り替えには時期尚早の印象がありました。DVが普及してノンリニア編集は誰もが望むところ、ぜひ一度詳しい解説をしていただきたいものです。
9. 日本の美 城と桜 8分30秒 那須典彦さん
近畿の主な城を網羅しています。何年か撮り溜めたものを一つにされたのでしょうか。さすがそつのない撮り方、美しい映像です。しかしただ奇麗なだけで内容は稀薄です。那須さんは日頃口癖のように「もっと酷評しろ」と言っておられますので敢えて申しますが、城の数が多いだけ作品的に散漫、従って大した感銘はありません。
10. 明石海峡ブリッジウオーク 8分40秒 有村 博さん
開通直前の明石海峡大橋を歩いて渡る最初で最後の催し。あまりにも参加者が多いのでさまざまな制限つき、まるで造幣局の通り抜け状態。いや造幣局の方がまだまし。しかし今後絶対に撮れない貴重な映像ではあります。

一泊撮影会申込者は18名

今年のOMC撮影会は、5月30日～31日の一泊二日で計画していますが、申込者は18名の多きに達し、予想以上の多人数で嬉しい悲鳴をあげております。当日のお天気を祈る気持ちです。先ほどお知らせしておりますが、要点を再掲します。

記

1. 日時：5月30日(土)～31日(日)雨天決行
2. 場所：高野山
3. 参加費：13,000円(但し、交通費昼食代は各自負担)
4. 集合場所：南海高野山駅(ケーブルで上がったところ)
5. 集合時間：午前10時半(難波から乗られる方は8時40分発急行の前から4両目までに乗って下さい)
6. 宿坊：天徳院(てんとくいん)TEL0736-56-2714、バス千手院(せんじゅいん)より徒歩3分(金剛峰寺近く)。昼食は近くに食堂はありますが、お弁当も可。
7. 第1日目は高野山入口付近から大門、金剛峰寺などを撮影。翌日は奥の院一帯を予定。
8. 夜は懇親会として、楽しい夕食のひとつを過ごしていただきます。

<ひとこといわせて>

タイトラーの電池交換料6,615円也

愛用するナショナルタイトラーが、せっかく登録しておいたタイトルが消えてしまったので、原因は何かと取扱説明書をくまなく読むと、どうやら内蔵のリチウム電池の寿命らしい。電池交換なら同じ電池を買ってきて自分で取り換えたら簡単だ、と、さてどこに電池が入っているだろうかと調べても分からず。とうとうサービスセンターに電話すると、たらい廻しにされたあげく、持ってきて下さいという。

どうやら自分では出来ないらしいのだ。何でもハンダ付けしてあって、簡単に入れ替え出来ない構造になっているらしい。第一タイトラーのようなものに電池が入っていることなど知らなかったのもうかつであった。聞けば3年位で交換するものらしい。多忙の合間を縫ってサービスセンターに持っていくと、すぐに電池交換してくれるというものではなく、数日かかるうえ、故障修理扱いなので、技術料も含めて(電池代700円)6,615円かかるという。たかが電池の交換とあなどるなかれ、ナショナルのタイトラーは3年ごとに、こうした”おーごと”を経る必要があったのだ。他のメーカーのもそうになっているのか仲間に聞いてみたいものである。おかげで編集の予定がすっかり狂ってしまったのが痛かった。

世の中すすんでいるのだから、リチウム電池の交換に近いことを知らせるサインがでるとか、自分で取り換え可能にするとか、コードを入れっぱなしにしておくと、充電してくれるとか、ユーザーの立場になって作って欲しいものである。

(合原記)